



2023年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 江崎グリコ株式会社
 コード番号 2206 URL <https://www.glico.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 江崎勝久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 高橋真一
 ファイナンス部長 TEL 06-6477-8404
 定時株主総会開催予定日 2024年3月26日 配当支払開始予定日 2024年3月7日
 有価証券報告書提出予定日 2024年3月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期の連結業績（2023年1月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	332,590	9.4	18,622	45.0	21,285	56.0	14,133	74.5
2022年12月期	303,921	—	12,845	△33.5	13,646	△37.1	8,099	△40.1

(注) 包括利益 2023年12月期 23,458百万円 (66.2%) 2022年12月期 14,113百万円 (△38.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	222.25	—	5.6	5.6	5.6
2022年12月期	126.59	—	3.3	3.8	4.2

(参考) 持分法投資損益 2023年12月期 813百万円 2022年12月期 460百万円

(注) 2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、2022年12月期の売上高において、対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	395,743	263,116	66.3	4,128.69
2022年12月期	369,056	244,760	66.2	3,841.62

(参考) 自己資本 2023年12月期 262,543百万円 2022年12月期 244,291百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年12月期	28,063	△8,613	△6,179	94,691
2022年12月期	16,802	△20,140	△10,284	79,917

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年12月期	—	40.00	—	40.00	80.00	5,087	63.2	2.1
2023年12月期	—	40.00	—	40.00	80.00	5,087	36.0	2.0
2024年12月期 (予想)	—	45.00	—	45.00	90.00		38.2	

(注) 2022年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭
 2022年12月期期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	351,000	5.5	19,000	2.0	21,500	1.0	15,000	6.1	235.89

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

※詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年12月期	68,468,569株	2022年12月期	68,468,569株
2023年12月期	4,878,498株	2022年12月期	4,877,747株
2023年12月期	63,590,399株	2022年12月期	63,984,620株

（参考）個別業績の概要

1. 2023年12月期の個別業績（2023年1月1日～2023年12月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	205,853	4.6	8,818	17.6	13,582	△15.2	9,850	△21.5
2022年12月期	196,730	—	7,497	△37.4	16,011	△0.5	12,553	21.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期	154.91	—
2022年12月期	196.19	—

（注）2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、2022年12月期の売上高において、対前期増減率は記載しておりません。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	316,960	219,733	69.3	3,455.46
2022年12月期	301,747	211,088	70.0	3,319.49

（参考）自己資本 2023年12月期 219,733百万円 2022年12月期 211,088百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
4. その他	19

※参考資料 2023年12月期 決算短信補足説明資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、当連結会計年度の期首より組織再編に伴い報告セグメントを従来の「菓子・食品部門」「冷菓部門」「乳業部門」「食品原料部門」「海外部門」から、「健康・食品事業」「乳業事業」「栄養菓子事業」「食品原料事業」「国内その他事業」「海外事業」に変更しております。このため、前年同期数値につきましては、変更後のセグメント区分に組み替えて比較分析を行っております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、経済活動の正常化が進みました。一方で、エネルギー・原材料価格の高騰、急激な為替変動等の影響が懸念され、また、世界的な金融引締めによる景気の下振れリスクが生じており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、存在意義（パーパス）である「すこやかな毎日、ゆたかな人生」の実現に向け価値創造を強化し、①健康価値の提供・お客様起点のバリューチェーンの構築、②注力領域への研究投資の集中、③海外事業の拡大に向け取り組みました。

その結果、売上面では、全てのセグメントで前年同期を上回ったため、当連結会計年度の売上高は332,590百万円となり、前年同期（303,921百万円）に比べ9.4%の増収となりました。

利益面では、売上原価率は、前連結会計年度に新型コロナウイルス感染症によるロックダウンがあった中国で低下したこと等により前年同期に比べ0.8ポイント低下しました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費、販売促進費等が増加しました。

その結果、営業利益は18,622百万円となり、前年同期（12,845百万円）に比べ5,776百万円の増益となりました。経常利益は営業利益段階での増益や為替差益等により、21,285百万円となり、前年同期（13,646百万円）に比べ7,639百万円の増益となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は14,133百万円となり、前年同期（8,099百万円）に比べ6,033百万円の増益となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

（単位：百万円、％）

セグメント	売上高				営業利益			
	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年同期増減額	対前年同期増減率(%)	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年同期増減額	対前年同期増減率(%)
健康・食品事業	47,808	50,499	2,690	5.6	2,044	2,064	20	1.0
乳業事業	66,016	69,675	3,658	5.5	267	529	262	98.1
栄養菓子事業	57,847	61,890	4,042	7.0	4,751	6,525	1,774	37.3
食品原料事業	11,158	13,348	2,190	19.6	1,238	2,427	1,189	96.0
国内その他事業	61,189	65,962	4,773	7.8	906	2,047	1,140	125.8
海外事業	59,902	71,214	11,312	18.9	1,192	4,165	2,973	249.4
調整	—	—	—	—	2,445	862	△1,583	△64.7
合計	303,921	332,590	28,668	9.4	12,845	18,622	5,776	45.0

（注）調整の内容は、セグメント間取引消去・その他調整額及び各報告セグメントに配分していない全社費用等です。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

<健康・食品事業>

売上面では、“DONBURI亭”“カレー職人”等は前年同期を下回りましたが、“パピコ”“アーモンド効果”等が前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は50,499百万円となり、前年同期（47,808百万円）に比べ5.6%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は2,064百万円となり、前年同期（2,044百万円）に比べ20百万円の増益となりました。

<乳業事業>

売上面では、“牧場しぼり”“朝食りんごヨーグルト”等は前年同期を下回りましたが、“セブンティーンアイス”“ジャイアントコーン”等が前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は69,675百万円となり、前年同期（66,016百万円）に比べ5.5%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は529百万円となり、前年同期（267百万円）に比べ262百万円の増益となりました。

<栄養菓子事業>

売上面では、“神戸ローストショコラ”“ビット”等は前年同期を下回りましたが、“ポッキー”“プリッツ”等が前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は61,890百万円となり、前年同期（57,847百万円）に比べ7.0%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は6,525百万円となり、前年同期（4,751百万円）に比べ1,774百万円の増益となりました。

<食品原料事業>

売上面では、「小麦たん白」「澱粉」等が前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は13,348百万円となり、前年同期（11,158百万円）に比べ19.6%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は2,427百万円となり、前年同期（1,238百万円）に比べ1,189百万円の増益となりました。

<国内その他事業>

売上面では、卸売販売子会社の売上高、「オフィスグリコ」等が前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は65,962百万円となり、前年同期（61,189百万円）に比べ7.8%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は2,047百万円となり、前年同期（906百万円）に比べ1,140百万円の増益となりました。

<海外事業>

売上面では、地域別において、中国、ASEAN、米国等で前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は71,214百万円となり、前年同期（59,902百万円）に比べ18.9%の増収となりました。

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は4,165百万円となり、前年同期（1,192百万円）に比べ2,973百万円の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は188,464百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,296百万円増加しました。主な要因は、商品及び製品が1,137百万円減少しましたが、現金及び預金が5,493百万円、受取手形及び売掛金が3,060百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は207,278百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,389百万円増加しました。主な要因は、建設仮勘定が1,377百万円、ソフトウェア仮勘定が5,731百万円、投資有価証券が7,575百万円増加したこと等によるものであります。この結果、総資産は395,743百万円となり、前連結会計年度末に比べ26,686百万円増加しました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は115,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ36,116百万円増加しました。固定負債は16,635百万円となり、前連結会計年度末に比べ27,785百万円減少しました。主な要因は、償還期限が1年以内となった転換社債型新株予約権付社債を固定負債から流動負債へ振替えたこと等によるものであります。この結果、負債合計は132,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,330百万円増加しました。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は263,116百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,356百万円増加しました。主な要因は、剰余金の配当により5,087百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益を14,133百万円計上したこと及び為替換算調整勘定が4,816百万円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は66.3%（前連結会計年度末比0.1ポイント増）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額（△は減）
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,802	28,063	11,260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,140	△8,613	11,527
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,284	△6,179	4,105
現金及び現金同等物期首残高	89,463	79,917	△9,546
現金及び現金同等物期末残高	79,917	94,691	14,774

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動による収入が投資活動及び財務活動による支出を上回ったため、前連結会計年度末に比べ14,774百万円増加し、当連結会計年度末には94,691百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは28,063百万円となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益19,943百万円、減価償却費14,016百万円があったものの、売上債権の増加△2,086百万円、棚卸資産の増加△366百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは△8,613百万円となりました。主な要因は、定期預金の払戻による収入9,948百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出△11,821百万円、無形固定資産の取得による支出△6,556百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは△6,179百万円となりました。主な要因は、配当金の支払額△5,087百万円があったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境が改善するなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待される一方で、世界的な金融引締めの影響による海外景気の下振れリスク、物価上昇、金融資本市場の変動等先行きは未だ不透明なまま推移すると予想されます。

このような状況を踏まえ、2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の売上高は351,000百万円、営業利益は営業利益は19,000百万円、経常利益は経常利益は21,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は15,000百万円と予想しております。

なお、2024年12月期売上高予想におけるセグメント別内訳は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	健康・食品 事業	乳業 事業	栄養菓子 事業	食品原料 事業	国内その他 事業	海外 事業	合計
売上高予想 (通期)	53,500	72,500	63,700	13,700	66,600	81,000	351,000

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	91,705	97,199
受取手形及び売掛金	45,372	48,433
有価証券	226	—
商品及び製品	17,861	16,724
仕掛品	891	1,009
原材料及び貯蔵品	14,093	16,109
前払費用	987	1,272
その他	7,143	7,814
貸倒引当金	△113	△98
流動資産合計	178,168	188,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	85,851	87,480
減価償却累計額及び減損損失累計額	△44,626	△47,276
建物及び構築物（純額）	41,225	40,203
機械装置及び運搬具	132,874	140,499
減価償却累計額及び減損損失累計額	△98,336	△104,914
機械装置及び運搬具（純額）	34,538	35,585
工具、器具及び備品	26,853	28,295
減価償却累計額及び減損損失累計額	△22,151	△23,119
工具、器具及び備品（純額）	4,702	5,175
土地	15,984	16,069
リース資産	3,970	4,436
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,809	△2,814
リース資産（純額）	2,161	1,621
建設仮勘定	11,426	12,803
有形固定資産合計	110,038	111,459
無形固定資産		
ソフトウェア	4,401	3,758
ソフトウェア仮勘定	16,746	22,477
のれん	352	306
その他	181	367
無形固定資産合計	21,682	26,909
投資その他の資産		
投資有価証券	39,265	46,840
長期貸付金	13	89
長期前払費用	125	730
退職給付に係る資産	4,432	5,639
投資不動産	12,648	12,701
減価償却累計額及び減損損失累計額	△433	△476
投資不動産（純額）	12,214	12,224
繰延税金資産	1,473	1,674
その他	1,682	1,765
貸倒引当金	△39	△55
投資その他の資産合計	59,168	68,909
固定資産合計	190,888	207,278
資産合計	369,056	395,743

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,430	38,326
未払費用	24,789	25,837
未払法人税等	2,562	3,181
返金負債	7,256	8,383
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	30,001
役員賞与引当金	73	80
株式給付引当金	—	45
その他	8,762	10,133
流動負債合計	79,875	115,991
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	30,023	—
退職給付に係る負債	1,350	1,426
繰延税金負債	6,633	8,977
その他	6,414	6,231
固定負債合計	44,421	16,635
負債合計	124,296	132,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	9,894	9,894
利益剰余金	217,184	226,230
自己株式	△13,806	△13,809
株主資本合計	221,046	230,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,945	14,604
繰延ヘッジ損益	△59	164
為替換算調整勘定	11,756	16,573
退職給付に係る調整累計額	602	1,111
その他の包括利益累計額合計	23,245	32,454
非支配株主持分	468	572
純資産合計	244,760	263,116
負債純資産合計	369,056	395,743

(2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
売上高	303,921	332,590
売上原価	193,172	208,740
売上総利益	110,749	123,850
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	27,122	26,144
販売促進費	8,956	10,877
広告宣伝費	10,257	12,737
貸倒引当金繰入額	37	△1
給料及び手当	18,590	20,294
賞与	5,806	5,323
役員賞与引当金繰入額	73	80
株式給付引当金繰入額	—	45
退職給付費用	272	448
福利厚生費	5,889	5,894
減価償却費	3,425	3,406
その他	17,470	19,977
販売費及び一般管理費合計	97,903	105,228
営業利益	12,845	18,622
営業外収益		
受取利息	550	651
受取配当金	657	605
受取ロイヤリティー	321	514
為替差益	—	261
持分法による投資利益	460	813
不動産賃貸料	552	603
補助金収入	425	441
その他	533	493
営業外収益合計	3,500	4,384
営業外費用		
支払利息	96	93
寄付金	143	710
為替差損	1,002	—
投資事業組合運用損	170	268
固定資産廃棄損	294	22
固定資産除却損	218	117
休止固定資産減価償却費	116	98
債務保証損失	123	—
その他	534	410
営業外費用合計	2,699	1,720
経常利益	13,646	21,285

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
特別利益		
持分変動利益	—	400
投資有価証券売却益	3,519	49
特別利益合計	3,519	450
特別損失		
減損損失	419	1,018
投資有価証券評価損	2,163	742
子会社清算損	—	30
新型コロナウイルス感染症による損失	647	—
特別損失合計	3,229	1,792
税金等調整前当期純利益	13,936	19,943
法人税、住民税及び事業税	5,955	5,340
法人税等調整額	△176	383
法人税等合計	5,779	5,724
当期純利益	8,156	14,219
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	8,099	14,133
非支配株主に帰属する当期純利益	56	86
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△332	3,659
繰延ヘッジ損益	△313	224
為替換算調整勘定	6,659	4,421
退職給付に係る調整額	△426	515
持分法適用会社に対する持分相当額	370	417
その他の包括利益合計	5,956	9,238
包括利益	14,113	23,458
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	14,024	23,342
非支配株主に係る包括利益	88	116

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,773	9,959	214,795	△9,057	223,470
会計方針の変更による累積的影響額			△893		△893
会計方針の変更を反映した当期首残高	7,773	9,959	213,901	△9,057	222,577
当期変動額					
剰余金の配当			△4,816		△4,816
親会社株主に帰属する当期純利益			8,099		8,099
自己株式の取得				△5,002	△5,002
自己株式の処分		7		253	261
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△72			△72
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	△65	3,283	△4,749	△1,531
当期末残高	7,773	9,894	217,184	△13,806	221,046

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	11,277	253	4,758	1,030	17,320	386	241,177
会計方針の変更による累積的影響額							△893
会計方針の変更を反映した当期首残高	11,277	253	4,758	1,030	17,320	386	240,284
当期変動額							
剰余金の配当							△4,816
親会社株主に帰属する当期純利益							8,099
自己株式の取得							△5,002
自己株式の処分							261
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							△72
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△332	△313	6,998	△427	5,925	81	6,006
当期変動額合計	△332	△313	6,998	△427	5,925	81	4,475
当期末残高	10,945	△59	11,756	602	23,245	468	244,760

当連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,773	9,894	217,184	△13,806	221,046
会計方針の変更による累積的影響額					
会計方針の変更を反映した当期首残高	7,773	9,894	217,184	△13,806	221,046
当期変動額					
剰余金の配当			△5,087		△5,087
親会社株主に帰属する当期純利益			14,133		14,133
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	9,045	△2	9,043
当期末残高	7,773	9,894	226,230	△13,809	230,089

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	10,945	△59	11,756	602	23,245	468	244,760
会計方針の変更による累積的影響額							
会計方針の変更を反映した当期首残高	10,945	△59	11,756	602	23,245	468	244,760
当期変動額							
剰余金の配当							△5,087
親会社株主に帰属する当期純利益							14,133
自己株式の取得							△2
自己株式の処分							
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	3,659	224	4,816	508	9,208	103	9,312
当期変動額合計	3,659	224	4,816	508	9,208	103	18,356
当期末残高	14,604	164	16,573	1,111	32,454	572	263,116

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	13,936	19,943
減価償却費	13,896	14,016
減損損失	419	1,018
退職給付に係る資産負債の増減額	△796	△685
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	6
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△21	45
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	△4,106	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△260	6
受取利息及び受取配当金	△1,208	△1,257
支払利息	96	93
投資事業組合運用損益 (△は益)	170	268
持分法による投資損益 (△は益)	△460	△813
為替差損益 (△は益)	1,091	75
固定資産売却損益 (△は益)	—	△17
固定資産除却損	218	117
固定資産廃棄損	294	22
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,519	△49
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,163	742
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,285	△2,086
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,084	△366
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,271	1,251
返金負債の増減額 (△は減少)	7,256	942
その他	△3,721	△483
小計	23,354	32,793
法人税等の支払額	△6,551	△4,729
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,802	28,063
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,667	—
定期預金の払戻による収入	7,796	9,948
投資有価証券の取得による支出	△2,753	△2,435
投資有価証券の売却及び償還による収入	5,516	133
投資事業組合からの分配による収入	11	94
有形固定資産の取得による支出	△18,385	△11,821
有形固定資産の売却による収入	44	24
無形固定資産の取得による支出	△7,312	△6,556
投資不動産の賃貸による収入	493	537
貸付金の回収による収入	13	23
利息及び配当金の受取額	1,219	1,753
その他	△118	△316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,140	△8,613

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△309	—
利息の支払額	△96	△93
配当金の支払額	△4,816	△5,087
非支配株主への配当金の支払額	△7	△5
自己株式の売却による収入	238	—
自己株式の取得による支出	△5,002	△2
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△72	—
その他	△217	△991
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,284	△6,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,076	1,504
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△9,546	14,774
現金及び現金同等物の期首残高	89,463	79,917
現金及び現金同等物の期末残高	79,917	94,691

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、この変更による連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、注力領域・事業を基礎とした製品・サービス並びに地域別のセグメントから構成されており、「健康・食品事業」、「乳業事業」、「栄養菓子事業」、「食品原料事業」、「国内その他事業」及び「海外事業」の6つを報告セグメントとしております。

「健康・食品事業」・・・健康関連商品、レトルト食品、アイスクリーム等を製造・販売しております。

「乳業事業」・・・乳製品、洋生菓子、アイスクリーム等を製造・販売しております。

「栄養菓子事業」・・・チョコレート、ビスケット等を製造・販売しております。

「食品原料事業」・・・小麦たん白、澱粉、色素等を製造・販売しております。

「国内その他事業」・・・直営店舗事業、オフィスグリコ事業、卸売販売事業等を行っております。

「海外事業」・・・海外においてチョコレート、ビスケット等を製造・販売しております。

また、当連結会計年度より、組織再編に伴い報告セグメントを従来の「菓子・食品部門」「冷菓部門」「乳業部門」「食品原料部門」「海外部門」から、「健康・食品事業」「乳業事業」「栄養菓子事業」「食品原料事業」「国内その他事業」「海外事業」に変更しております。なお、これらのセグメント変更に伴い、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、棚卸資産の評価基準及び固定資産の減価償却方法を除き、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

棚卸資産の評価基準については、一部、収益性の低下に基づく簿価切下げ前の社内振替高により評価しております。

固定資産の減価償却方法については、一部を定額法により計算しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計		
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	47,808	66,016	57,847	11,158	61,189	59,902	303,921	—	303,921
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	47,808	66,016	57,847	11,158	61,189	59,902	303,921	—	303,921
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	226	12,606	—	12,833	△12,833	—
計	47,808	66,016	57,847	11,384	73,796	59,902	316,754	△12,833	303,921
セグメント利益	2,044	267	4,751	1,238	906	1,192	10,400	2,445	12,845
セグメント資産	28,029	38,914	50,364	7,812	17,900	54,691	197,713	171,343	369,056
その他の項目									
減価償却費	1,563	3,402	2,905	206	1,634	2,770	12,483	1,413	13,896
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,722	3,749	3,200	281	2,384	8,313	19,651	7,060	26,712

(注) 1. セグメント利益の調整額2,445百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,798百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等646百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。セグメント資産の調整額171,343百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。その他の項目の減価償却費の調整額1,413百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額7,060百万円は、報告セグメントに帰属しない全社償却費及び全社取得資産であります。

2. セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計		
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	50,499	69,675	61,890	13,348	65,962	71,214	332,590	—	332,590
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	50,499	69,675	61,890	13,348	65,962	71,214	332,590	—	332,590
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	301	12,586	—	12,888	△12,888	—
計	50,499	69,675	61,890	13,649	78,549	71,214	345,478	△12,888	332,590
セグメント利益	2,064	529	6,525	2,427	2,047	4,165	17,759	862	18,622
セグメント資産	26,326	50,993	39,666	8,952	22,406	50,478	198,825	196,917	395,743
その他の項目									
減価償却費	1,585	3,459	2,725	223	1,491	3,158	12,643	1,373	14,016
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,314	2,867	2,259	231	1,837	5,266	13,776	6,239	20,016

(注) 1. セグメント利益の調整額862百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額2,003百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△1,140百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。セグメント資産の調整額196,917百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。その他の項目の減価償却費の調整額1,373百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額6,239百万円は、報告セグメントに帰属しない全社償却費及び全社取得資産であります。

2. セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：百万円）

	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計
外部顧客への売上高	47,808	66,016	57,847	11,158	61,189	59,902	303,921

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：百万円）

日本	中国	東南アジア	米国	その他	合計
244,019	24,443	14,904	14,927	5,627	303,921

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

（単位：百万円）

日本	中国	東南アジア	米国	その他	合計
81,649	9,435	18,369	145	438	110,038

当連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：百万円）

	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計
外部顧客への売上高	50,499	69,675	61,890	13,348	65,962	71,214	332,590

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：百万円）

日本	中国	東南アジア	米国	その他	合計
261,375	29,217	18,544	16,865	6,587	332,590

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

（単位：百万円）

日本	中国	東南アジア	米国	その他	合計
80,401	10,603	19,964	66	424	111,459

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計
減損損失	9	20	5	—	203	180	419

当連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計
減損損失	7	25	2	—	191	791	1,018

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計
当期償却額	—	—	—	—	—	72	72
当期末残高	—	—	—	—	—	352	352

当連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計
当期償却額	—	—	—	—	—	75	75
当期末残高	—	—	—	—	—	306	306

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり純資産額	3,841.62円	4,128.69円
1株当たり当期純利益	126.59円	222.25円

- (注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上「期中平均株式数」は、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（信託口）」所有の当社株式（前連結会計年度16千株、当連結会計年度一千株）を控除しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	8,099	14,133
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	8,099	14,133
普通株式の期中平均株式数 (千株)	63,984	63,590
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整 後1株当たり当期純利益の算定に含めな かった潜在株式の概要	2024年満期ユーロ円建転換社債 型新株予約権付社債（額面金額 300億円 新株予約権3,000個）	2024年満期ユーロ円建転換社債 型新株予約権付社債（額面金額 300億円 新株予約権3,000個）

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

（1）役員の変動（2024年3月26日付予定）

- ・新任監査役候補
監査役 内藤 文雄
- ・退任予定監査役
監査役 宮本 又郎

決算短信補足説明資料

-23年12月期 決算-

江崎グリコ株式会社
Ezaki Glico Co., Ltd.

連結経営成績 (百万円未満、百万元未満、百万米ドル未満は切り捨て)

(1)売上高・利益の概況

単位：百万円

	22/12期 (1月-12月)	23/12期 (1月-12月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	303,921	332,590	28,668	9.4
営業利益	12,845	18,622	5,776	45.0
経常利益	13,646	21,285	7,639	56.0
当期純利益	8,099	14,133	6,033	74.5

(2)営業利益の状況

単位：百万円

	22/12期		23/12期	
	(1月-12月)	売上比(%)	(1月-12月)	売上比(%)
売上高	303,921	100.0	332,590	100.0
売上原価	193,172	63.6	208,740	62.8
売上総利益	110,749	36.4	123,850	37.2
運賃保管料	27,122	8.9	26,144	7.9
販売促進費	8,956	2.9	10,877	3.3
広告費	10,257	3.4	12,737	3.8
人件費・厚生費	30,633	10.1	32,087	9.6
経費・償却費	20,934	6.9	23,382	7.0
販売費及び一般管理費	97,903	32.2	105,228	31.6
営業利益	12,845	4.2	18,622	5.6

営業利益の増減要因	対22/12期 (1月-12月)	
	内	国内
①売上高増減による増減益	11,519	6,584
②原材料価格変動による増減益	▲ 7,781	▲ 8,161
③原価のその他変動による増減益 *	6,806	8,396
④運賃保管料比率変動による増減益	3,536	1,309
⑤販売促進費・広告費増減による増減益	▲ 4,401	▲ 2,306
⑥一般管理費増減による増減益	▲ 3,903	▲ 3,020
合計	5,776	2,802

* 販売品種構成の変化等の増減益を含む

(3)セグメント別売上高の状況

単位：百万円

		22/12期 (1月-12月)	23/12期 (1月-12月)	前年同期比	
				金額	増減率(%)
健康・食品事業	健康	12,831	12,756	▲ 74	-0.6
	アイスクリーム	17,753	20,932	3,178	17.9
	その他	17,222	16,809	▲ 413	-2.4
	計	47,808	50,499	2,690	5.6
乳業事業	発酵乳	12,305	12,046	▲ 258	-2.1
	アイスクリーム	25,844	28,602	2,757	10.7
	その他	27,867	29,026	1,159	4.2
	計	66,016	69,675	3,658	5.5
栄養菓子事業	チョコレート	33,057	35,786	2,728	8.3
	ビスケット	19,511	20,279	768	3.9
	その他	5,278	5,824	545	10.3
	計	57,847	61,890	4,042	7.0
食品原料事業		11,158	13,348	2,190	19.6
国内その他事業		61,189	65,962	4,773	7.8
海外事業		59,902	71,214	11,312	18.9
合計		303,921	332,590	28,668	9.4

(4)セグメント別営業利益の状況

単位：百万円

	22/12期 (1月-12月)	23/12期 (1月-12月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
健康・食品事業	2,044	2,064	20	1.0
乳業事業	267	529	262	98.1
栄養菓子事業	4,751	6,525	1,774	37.3
食品原料事業	1,238	2,427	1,189	96.0
国内その他事業	906	2,047	1,140	125.8
海外事業	1,192	4,165	2,973	249.4
調整	2,445	862	▲ 1,583	-64.7
合 計	12,845	18,622	5,776	45.0

(5)海外事業 - 地域別の売上高、営業利益

*以下の数値については、管理会計上の数値であり連結財務諸表数値とは異なります。
また、地域区分についても連結財務諸表とは異なります。

◆中国

単位：百万円

	22/12期 (1月-12月)	23/12期 (1月-12月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	1,261	1,482	220	17.5
営業利益	60	143	82	135.8

◆ASEAN

単位：百万米ドル

	22/12期 (1月-12月)	23/12期 (1月-12月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	112	131	18	16.3
営業利益	▲ 13	▲ 10	3	-

※22年12月期4Qの実績は、23年12月期4Qの平均レートで置き換えています。

◆米国

単位：百万米ドル

	22/12期 (1月-12月)	23/12期 (1月-12月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	108	114	5	5.5
営業利益	17	21	3	17.8

※米国については、連結ベースの数字です。

連結業績予想

(1) セグメント別売上高の通期予想

単位：百万円

	23/12期 (1月-12月)	24/12期 (1月-12月)	前年同期比	
	実績	予想	金額	増減率(%)
健康・食品事業	50,499	53,500	3,000	5.9
乳業事業	69,675	72,500	2,824	4.1
栄養菓子事業	61,890	63,700	1,809	2.9
食品原料事業	13,348	13,700	351	2.6
国内その他事業	65,962	66,600	637	1.0
海外事業	71,214	81,000	9,785	13.7
合計	332,590	351,000	18,409	5.5

(2) セグメント別営業利益の通期予想

単位：百万円

	23/12期 (1月-12月)	24/12期 (1月-12月)	前年同期比	
	実績	予想	金額	増減率(%)
健康・食品事業	2,064	2,430	365	17.7
乳業事業	529	600	70	13.4
栄養菓子事業	6,525	5,790	▲ 735	-11.3
食品原料事業	2,427	2,090	▲ 337	-13.9
国内その他事業	2,047	1,540	▲ 507	-24.8
海外事業	4,165	7,000	2,834	68.0
調整	862	▲ 450	▲ 1,312	-
合計	18,622	19,000	377	2.0